

評価項目	D 生物多様性が維持されていること					
評価案の作成主体	ヤクシカWG／高層湿原保全対策検討会					
評価年月	2022年●月					
評価対象期間	2012年～2021年（ただし一部のデータは2011年以前のものも使用）					
総評	（例）一部地域でヤクシカの密度低下や植生回復の傾向が確認されているが、遺産地域の生態系へのヤクシカの影響は引き続き生じている。					
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	No.	評価指標	評価基準（概要）	個別評価
	8	ヤクシカの動態把握及び被害状況把握	9	ヤクシカの個体数	ヤクシカの生息密度が適正に保たれていること	例 
			10	ヤクシカの捕獲頭数	捕獲頭数が適正な生息密度維持のために、寄与していること	?
			11	ヤクシカによる植生被害及び回復状況	林床植生に過度な摂食がみられずに、森林生態系の維持及び適切な森林更新が期待されること	?
	9	希少種・固有種の分布状況の把握	12	林床部の希少種・固有種の分布・生育状況	希少種・固有種の生育地・生育個体数が減少していないこと	?
			13	ヤクタネゴヨウの分布・生育状況	ヤクタネゴヨウの生育地・生育個体数が減少しておらず、更新が期待されること	?
	10	外来種等による生態系への影響把握	14	外来植物アブラギリの分布状況	アブラギリの生育分布域が拡大していないこと	?
	11	高層湿原の動態把握	15	湿原の面積	湿原面積が大きく減少していないこと	?
			16	湿原の水深、土砂堆積深及び落ち葉だまりの分布面積	湿原の水深が維持され、土砂堆積深、落ち葉溜まりの分布面積に著しい変化がみられないこと	?
	12	高層湿原植生の動態把握	17	湿原植生群落の分布、種組成	植生群落分布面積及び位置、種組成に変化がみられないこと	?
評価の理由等	<p>（個別モニタリング項目の評価結果に係る背景、評価の理由のほか、評価プロセス等、評価結果に係る特記事項を簡潔に記載。）</p> <p>(8)</p> <p>(9)</p> <p>(10)</p>					
遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等	<p>（評価項目の評価結果に密接に関連する管理施策として、特筆すべき事項があれば記載。また、管理施策の現状等を踏まえた今後の遺産管理上の課題について記載）</p>					
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	<p>（調査手法等へのコメントではなく、上記課題を踏まえた「遺産地域の管理の方向性」等についての助言等があれば、適宜記載。）</p>					